

# 日本代表が強化合宿

## アジア大会でのメダル獲得に向けて調整

### 10月25、26日、千葉県長柄町の日本エアロビクスセンターで

10月25日(水)、26日(木)の二日間、千葉県長生郡長柄町の日本エアロビクスセンターで、2006年第2回トライアスロンナショナルチーム合同強化合宿兼2006アジア大会日本代表強化合宿が行われた。

二日間の練習内容は、スイム・バイク・ランすべてをカバーし、実践トレーニングも含むというもの。

参加したのは、庭田清美(アシックス・ザバス)、上田藍(グリーンタワー・稲毛インター)、高木美里(湘南ベルマーレ)、関根明子(NTT東日本・NTT西日本)、中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)、忽那静香(日東紅茶・TEAM KEN'S・A&A)、田山寛豪(チームテイケイ)、山本良介(トヨタ車体)、山本淳一(K's-Y・グリーンタワー・稲毛インターITC)の9名だった。



長柄町周辺でランの練習をする上田、高木、中西、山本(淳)の各選手(右から)



アジア大会に向けて笑顔の上田

上田 藍  
(グリーンタワー・稲毛インター)



いまは、12月のドーハに向けて万全の調整中です。アジア大会は、各競技がそろった大会で、私は初めて。それに出られるのは、北京オリンピックに向けて重要な経験になります。思ったほど暑くないようだし、気候に左右される方ではないので、ぜひメダルを取りたいと思います。

関根 明子  
(NTT東日本・NTT西日本)



今年は、石垣島が終わってから、アジア大会を目指して調整してきた。練習を重ねた結果、春よりも3kgほど体重も減って、ベストに近い。9月の北京ワールドカップでは、中国選手の実力が上がっていることも確認できた。ドーハでは、得意の脚を活かして勝ちたい。



# 日本代表が強化合宿

## アジア大会でのメダル獲得に向けて調整

アジア大会ではチームリーダーを務める山根英紀強化本部マネージャーは、「今回は、ナショナルチームとしての合宿であり、来年の世界選手権から北京オリンピックまでを視野にいれたチームづくりを目指す目的がある。日本選手権が終わって選手たちがほっとしているなかで、結果から今後について話し合っていくこともできた」と話した。

さらに「今後あるナショナルチームの入れ替えを目前にして、チームに入るにはどうしたらいいのか、が選手にもわかってきたのが収穫」とも言う。

そして、「初めてのアジア大会のトライアスロン競技では、男女ともワン・ツーで行きたい」と、力強く豊富を語ってくれた。



日本選手権も終わって、アジア競技会ドーハ大会へ、チームメートと一緒にトレーニングする山本（良）と田山（左）



ベテラン関根は余裕の調整

田山 寛豪  
(チームテイケイ)



アジア大会では、先行逃げ切りで行く。カザフスタン勢は驚異だが、ほかの選手を気にしながら戦うレースではなく、自分のペースでどう戦えるかのレース。バイクで逃げられればどんどん行く。もし集団になったら、積極的にしかけ、ランでは競り勝って勝ちたい。

山本 良介  
(トヨタ車体)



アジア大会は、いろいろな展開が考えられる。カザフスタンのドミトリー・ガークとアンドリュー・サブノフをマークするよりも、自分のレースができれば勝てると思う。まずスイムでは田山選手について行って、メダルを目指す。日本選手権は不完全燃焼だったので、ぜひ勝ちたい。

